



## RSLへようこそ！

RSLは、ボランティア等の経験者にはそこでの活動で得た知識や経験を体系的に捉え直す好機に、そうした経験のないみなさんには社会問題のリアルな一端に触れる機会になるはずです。また、RSLで学んだ経験は、今後の人生で岐路に立たされたときにこそ活かされるかもしれません。ぜひ、RSL科目を受講し、大学生生活をより豊かにしてください。

RSLセンター長 原田晃樹



## 2019年度 全学共通科目 RSL科目 開講曜日・時限

(2015年度以前の入学者は扱いが異なるため、「履修要項」で各自の入学年度のページを参照してください。)

### 1. RSL講義系科目

| 学期  | キャンパス | 科目名            | 担当者    | 曜日・時限 | 履修対象年次 | 備考    |
|-----|-------|----------------|--------|-------|--------|-------|
| 春学期 | 池袋    | 大学生の学び・社会で学ぶこと | 箕浦 真生  | 木曜・3限 | 1年次以上  | 1年次推奨 |
|     |       |                | 中川 英樹  | 木曜・4限 |        |       |
|     | 新座    |                | 藤井 満里子 | 水曜・1限 |        |       |
| 秋学期 | 池袋    | 大学生の学び・社会で学ぶこと | 藤井 満里子 | 木曜・3限 | 1年次以上  |       |
|     |       | シティズンシップを考える   | 小玉 重夫  | 金曜・1限 | 1年次以上  |       |
|     | 新座    |                | 林 大介   | 火曜・3限 |        |       |
|     | 池袋    | 市民活動の組織とマネジメント | 原田 晃樹  | 月曜・2限 |        |       |
|     |       | デモクラシーとリベラルアーツ | 藤井 満里子 | 火曜・4限 |        |       |

### 2. RSLゼミナール

| 学期  | キャンパス | 科目名      | 担当者    | 曜日・時限 | 履修対象年次 | 備考                    |
|-----|-------|----------|--------|-------|--------|-----------------------|
| 秋学期 | 池袋    | RSLゼミナール | 藤井 満里子 | 金曜・5限 | 1年次以上  | ※履修定員：30名<br>3、4年次を推奨 |

### 3. RSL実践系科目

| 学期  | キャンパス | 科目名               | 担当者    | 曜日・時限 | 履修対象年次 | 備考                                                               |
|-----|-------|-------------------|--------|-------|--------|------------------------------------------------------------------|
| 春学期 | 池袋    | RSL-プロジェクト・プランニング | 藤井 満里子 | 集中    | 2年次以上  | ※履修定員：50名<br>※事前・事後学習は、水曜・5限に設定<br>※フィールドワークは2019年8月に実施          |
| 秋学期 | 池袋    | RSL-コミュニティ（池袋）    | 藤枝 聡   | 集中    | 1年次以上  | ※履修定員：20名<br>※事前・事後学習は木曜・6限に設定<br>※フィールドワークは10月～12月に実施           |
|     |       | RSL-コミュニティ（埼玉）    | 田中 聡一郎 | 木曜・5限 |        | ※履修定員：15名<br>※事前・事後学習は、木曜・5限に設定<br>※フィールドワークは10月～12月に実施          |
|     |       | RSL-ローカル（南魚沼）     | 高野 孝子  | 集中    |        | ※履修定員：15名<br>※フィールドワークは2020年2月に実施                                |
|     |       | RSL-グローバル（フィリピン）  | 藤井 満里子 | 集中    |        | ※履修定員：15名<br>※事前・事後学習は水曜（18:00～19:40）に設定<br>※フィールドワークは2020年2月に実施 |

## 立教サービスラーニング(RSL)センター



### 池袋キャンパス

〒171-8501  
東京都豊島区西池袋3-34-1  
TEL 03-3985-3819  
FAX 03-3985-4657  
開室時間  
月～金 9:00～17:00  
土 9:00～12:30



### 新座キャンパス

〒352-8558  
埼玉県新座市北野1-2-26  
TEL 048-471-7239  
FAX 048-471-7312  
開室時間  
月～金 9:00～17:00  
土 9:00～12:30

池袋・新座共通メールアドレス：rsl@rikkyo.ac.jp URL：https://spirit.rikkyo.ac.jp/rsl/



立教大学



立教大学



あなたにとっての  
「当たり前」って  
本当ですか？

一緒にフィールドに  
飛び出そう!!

未来につながる  
「出会い」がある





# 立教サービスラーニング (RSL) って？

## 大学の学びとは？

大学の学びは、「答えのない問いについて考えること」であるといわれます。そのためには、深めたいテーマとの出会いを自分から積極的に探す姿勢が大切です。立教サービスラーニング (RSL) センターは、人によって意見が異なる社会的課題について、学生が現場で体験し、その事柄を専門的に学び合う環境を提供します！

## RIKKYO Learning Style (「専門性に立つ教養人の育成」)

立教大学は、4年間の学生生活 (学士課程) を授業だけではなく、サークルやボランティアなど、様々な活動と体系づけて考えています。そのため、学生生活を3つの期間 (導入期・形成期・完成期) に分け、各学部で専門性を究めるだけでなく、4年間のあらゆる学びの蓄積が個々の将来の目標に通じるよう、豊かな学びのスタイルを提供します。

## 立教サービスラーニング (RSL) の定義

社会の現場での活動と、教室における学問的な教育との結合を目指す実践型の教育プログラムの一形態であり、正課科目として展開。さまざまな分野で現場の専門機関の指導の下、学生たちは一定期間の社会的活動等を行い、その実践と理論的学習を統合することで、単位が付与される。

RIKKYO Learning Style の〈導入期・形成期・完成期〉に合わせて、講義系・実践系それぞれの科目 (全学共通科目) が用意されています。

※各期の学年以外でも履修することは可能です。  
詳しくはシラバスをご確認して頂くか、RSL センターにお問い合わせください。

### ① 導入期 (1年次)

全学共通科目：学びの精神科目群

大学生の学び・社会で学ぶこと

初年次教育や自校教育の要素を盛り込んでいます。1年次におすすめの科目です！

### ② 形成期 (1年次秋学期～2年次)

全学共通科目：多彩な学び (社会への視点) 科目群

シティズンシップを考える

市民活動の組織とマネジメント

デモクラシーとリベラルアーツ

RSL 講義系

講義系はキャンパスで議論し、深める！

## 立教サービスラーニング (RSL) センター ミッション・ステートメント

立教サービスラーニング (RSL) センターは、その使命の実現に向けて、以下を目的とした教育を実践します。

- 受講生は、立教大学で学ぶ学生のひとりとして、そしてデモクラシーを担うひとりの市民として、社会の中で状況や立場に応じて多様な役割を果たすという意識と態度を形成します。
- 受講生は、地域社会に生活する人々に寄り添い、共に活動することを通じて、その地域が大切にしてきた価値や文化を知り、その地域社会の未来について共に考えます。
- これらのために、自らの思考や行動を組み立てる上で必要となる知識と技法をサービスラーニングのアプローチから身に付けます。

### ③ 完成期 (3年次～4年次)

全学共通科目：多彩な学び (社会への視点) 科目群

RSL セミナール

大学での学びの総まとめとして、学際的なテーマを扱う、3～4年次におすすめの科目です！

全学共通科目：多彩な学び (知識の現場) 科目群

事前学習

実践

事後学習

RSL-コミュニティ (池袋) (埼玉)

RSL-ローカル (南魚沼)

RSL-グローバル (フィリピン)

RSL-プロジェクト・プランニング

RSL 実践系

実践系はフィールド (現場) から問う！

# 立教サービ斯拉ーニング(RSL) 講義系科目

講義をもとにグループディスカッションや全体発表、そして様々なフィールドで活動するゲストスピーカーによる市民生活の課題とその取り組みの報告など、「座学」だけでは終わらない講義系科目群です。

## 「大学生の学び・社会で学ぶこと」

### 立教大学だからできる「学び」と社会との「つながり」がある

立教大学の「共に生きる」という精神は大学4年間の学びのカリキュラムと深く関わっています。授業の前半では、チャブレンや大学職員が立教大学の歴史やその精神、立教大学における学びの仕組みとその構造、ボランティアなどの正課外教育等についてをお話します。後半では、科目担当教員の専門領域の知見を通して、大学で「学ぶこと」と「社会とつながること」の意味について参加者全体で考えていきます。



## 「シティズンシップを考える」

### 「市民」(citizen)としての「合意」と「選択」の本質とは？

日本は2016年に18歳選挙権が施行されました。これは新たに18歳～19歳も、地方自治や国政に参画する責任と義務が生じたということです。また、私たちに「子ども」と「大人」の境界線や「市民」の意味について再び問い直す機会が与えられたということでもあります。この授業では、受講生同士のグループディスカッションと発表、模擬選挙の実施や高大連携授業等を通して、「市民」と「主権者」の意味に迫ります。



## 「市民活動の組織とマネジメント」

### 市民活動団体(NPO)が展開する公的サービスの役割と構造に迫る

左の写真は独居高齢者を対象とした活動を展開している「社会福祉法人ふきのとう」のスタッフから活動報告を聞いている様子です。この授業では、活動の最前線にいる方をゲストとして呼びながら、日本の「市民」が現場にある課題を解決するため、事業活動を展開するようになったプロセスや運営上の特徴・課題などを学びます。



## 「デモクラシーとリベラルアーツ」

### 芸術は社会を映す鏡。芸術から社会の諸相、考えてみませんか？

人間の心性に深く関わる身近な文化芸術に触れ、デモクラシーやリベラルアーツの普遍性や重要性を学び、社会認識を深めることを目指します。文化芸術の具体的な事例を元に、社会と人間との関わりや自分らしい社会の捉え方について、受講生同士でディスカッションします。



## 「RSLゼミナール」

### 身の回りの生活文化を見直して、社会との関わり方を考えよう！

日常生活において見逃されがちな生活文化に光を当て、そうした文化の有効性を社会にどのように追求していくのかを受講生自身が考えます。文化の現場の最先端で働くゲストスピーカーの話や映像、実際のものづくり体験、受講生どうしのディスカッションやそれぞれのプロジェクトの構築等を通して、文化や社会とどのように関わるのかを実践的に学びます。





# 立教サービスラーニング(RSL) 実践系科目

立教大学の10学部27学科1Programに在籍する全ての学生が共に語り、学びあうことができる「フィールド」がここにはある。単なる履修では終わらない「社会とのつながり」に積極的にチャレンジしよう！

## 「RSL-コミュニティ(池袋)」

### 多文化共生の視点から池袋地域における相互連帯のあり方を考える

「池袋」について、どのような印象をお持ちですか？

いま豊島区は、日中韓で展開している「東アジア文化都市2019」の国内交流都市に選ばれるなど、池袋を中心にまちづくりも大きな国際化の流れの中にあります。また、2018年に池袋キャンパスは100周年という節目を迎え、地元との関係づくりに新たな1ページの始まりを記しました。

この科目では、外国籍住民も増え続けているなど急速にグローバル化を伴う変貌をとげている池袋をフィールドとして、「多文化共生と相互連帯」というテーマに取り組みます。池袋を主なフィールドに、多様な文化的背景を持つ住民の生活課題を「防災」「次世代・子育て」「芸術文化」の3領域から「見える」化し、住民相互の連帯を通じて問題改善を図る仕組みや方法論の提案づくりに取り組みます。また、「池袋キャンパス」という存在が、地域社会の中で果たしうる役割についても現場での活動を通して皆さんと考えてみたいと思います。

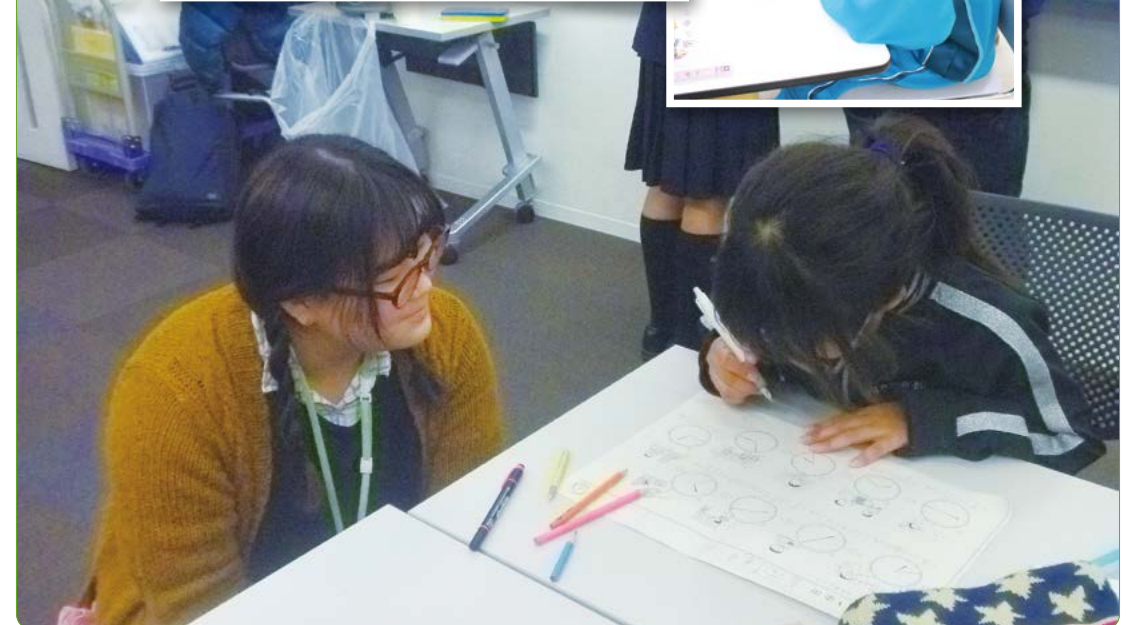


## 「RSL-コミュニティ(埼玉)」

### みえない「貧困」の意味を問う

厚生労働省によると、日本で貧困状態にある子どもの割合は現在6～7人に1人といわれています。GDPで世界第3位の日本は、今なお経済的には豊かな国のはずなのに、なぜこれほど貧困に苦しむ子どもがいるのでしょうか。特に相対的貧困として語られる日本の社会状況では、子どもの貧困は可視化することが難しく、様々な事情から学びたいのに学べない、学ぶ意欲が持てない子どもたちが社会から置き去りにされている現実があります。

この授業では、サービスラーニングの手法に基づきながら、埼玉県内の各地で生活困窮世帯の中学生を中心に「学習支援」と「家庭訪問」活動を展開している団体の事業に参加します。教室に参加する中学生への学習サポートをとおして、日本の社会保障制度の中心的な政策のひとつである生活保護制度の運用実態に触れるとともに、みえづらなくなった貧困と格差、社会的包摂を巡る諸問題についての理解を深めます。





# 立教サービスラーニング(RSL) 実践系科目

RSL実践系科目では、「コミュニティ(大学近郊)」、「ローカル(国内遠隔地)」、「グローバル(海外)」、そしてこれら全てのフィールドを一つにまとめた「プロジェクト・プランニング」を用意し、自分たちが立っている場所から水の波紋のように学びを広げてみたり、外から自分の立っている位置を問い直すことができるような連環型の学び(フィールド)を提供しています!

## 「RSL-ローカル(南魚沼)」

### 農村地域での交流から考える自然との共生と持続可能なまちづくり

新潟県南魚沼市栃窪集落は、世界のなかでも最豪雪地帯の一つであるといわれています。その雪深さゆえ、地元では家屋等に積もった大量の雪の除雪作業を「雪かき」ではなく、「雪ほり」と呼んでいます。真冬の生活は厳しいものではありませんが、南魚沼地域はその「場」にしかない四季折々に変わる豊かな自然の表情と食の恵みを私たちに与えてくれています。一方で現代日本の社会的な課題の一つである過疎・高齢化の問題に栃窪集落も直面しています。

この授業では、真冬の栃窪集落を活動のフィールドとし、現地での「雪ほり」活動や地域住民の方たちとの交流、地域の生活文化等を学びます。農村地域での生活体験をとおして、過疎・高齢化地域の現実や「豊かさ」の意味と向き合い、地域に住む方たちと共に地域活性や自然との共生のありかた等について学びます。



## 「RSL-グローバル(フィリピン)」

### アジア地域の大学連携によるフィールドプログラムで国際的な課題と向き合う

この授業では、立教大学がもつ独自のグローバルネットワークであるCUAC(世界聖公会大学連合会)と連携し、フィリピンのケソン市にあるトリニティ大学が展開するサービスラーニングプログラムに参加します。活動するマニラ近郊のコミュニティでは、社会格差が深刻化しており、目に見える貧困とどのように向き合うかが社会的な課題となっています。トリニティ大学では、地域の人に「寄り添う」ことを中心に「教育」や「医療」等における支援活動を展開しており、この活動に日本国内の聖公会関係大学や韓国、フィリピン等の大学生がチームとなって一緒に向き合い、地域に寄り添う具体的な手法を国際的な視点で検討することを目指します。

※この科目は2019年度グローバル奨学金対象科目です。奨学金の詳細は2019年4月以降、学生部奨学金HPに掲載します。





# 「RSL-プロジェクト・プランニング」

## 「RSL-プロジェクト・プランニング」とは？

この授業では、現代の多様な社会的課題に対し、現場で活動を展開している国内外9ヶ所の活動先から一つを学生が選び、それぞれの事業や活動に参加します。各活動先の方々と共に社会の「場」にある現実と協働で取り組み、それを参加者で共有して、市民性とは何かを問い深めることを目指します。また、将来のキャリア形成を考える一助とすることを目標とします。



**国内 活動先** NPO法人 キッズドア  
(東京・中央区)

### 子どもの貧困問題と向き合う

「親の収入格差が子どもの教育格差であってはならない」という使命のもと、行政、企業、地域とつながって、都内を中心に子どもの学習支援を展開しているNPO法人です。学習支援に留まらない視点を軸とした、多様な課題解決への取り組みに参加します。

**国内 活動先** NPO法人 多文化共生センター東京  
(東京・荒川区)

### 「日本で生きる」を支援する

外国にルーツを持つ子どもたちは、日本で生活するにあたり様々な課題を抱えています。日本語の学習支援や親子に対する教育情報の提供、多文化共生社会への理解を深める広報活動等、日本で共に生きるうえで必要なことは何かを考えます。

**国内 活動先** 東京ボランティア・市民活動センター  
(東京・新宿区)

### 多様な市民活動の推進と支援の実態を学ぶ

東京エリアを中心に、様々な団体・機関とのネットワークをはかり、質の高い「市民社会」の実現を目指しています。会議や企画の準備等に参加するなかで、一人ひとりを大切にするとはいどのようなことか等、「広義の福祉」について考えます。

**国内 活動先** 一般社団法人くらしサポート・ウィズ  
(東京・新宿区)

### 「相談」という社会センサーの機能を体感する

多重債務者救済のための相談機関としてスタートした機関です。相談は社会のセンサー機能ともいわれ、社会問題がいち早く表出します。「ウィズ」を含む4団体と協働した活動に参加し、社会のありかたと向き合います。

**国内 活動先** NPO法人 NPO birth  
(東京・都内各所)

### 自然と人間の共生に取り組む植物の名前いくつか言えますか？

自然と人間との共生を身近な緑の保全を通して実現することを目指しています。対象とする緑は、暮らしの中にある公園や雑木林、農園、街路樹等。これらの緑をそこに暮らす人々と共に守り育ていく活動に参加します。

**国内 活動先** NPO法人 サポートハウス年輪  
(東京・西東京市)

### 住み続けられる「地域」のかたち

地域でいつまでも暮らしつづけるための仕組み作りに挑戦しているNPO法人です。食事サービスやカフェ「絆」他、イベント事業などに参加することで、介護という仕事の社会的役割と現状を知ると共に、地域とつながるかたちを模索します。

**国内 活動先** 一般社団法人 まるオフィス  
(宮城県・気仙沼市唐桑町)

### 気仙沼地域の課題と現状に向き合う

東日本大震災を機に気仙沼に移住した若者と地元の若者が一緒になって「地域協育」と「移住推進」、「若者推進」の3事業を展開するまちづくり団体です。「地域の仕掛人(ローカルマネージャー)」の活動に参加します。

**国内 活動先** NPO法人 SET  
(岩手県・陸前高田市広田町)

### 陸前高田広田町への提案活動

東日本大震災を機に発足して、陸前高田市広田町を中心に若者の流出や産業の衰退など、日本の地方都市が抱える様々な課題解決に向けて行動する担い手の育成に取り組んでいます。今回は、SETでの活動を通して、より良いまちづくりへの課題解決案の提案にチャレンジします。

**国外 活動先** 日本財団学生ボランティアセンター  
(Gakuvo・インドネシア)

### インドネシアで教育ワークショップ活動を企画・実施!

インドネシアの現地参加者と共同生活を送りながら取り組みます。インドネシアの社会問題である教育格差と向き合い、外の世界に触れることが少ない低所得者の子ども達の可能性を広げる活動と解決策を考えます。

※この科目は2019年度グローバル奨学金対象科目です。奨学金の詳細は2019年4月以降、学生部奨学金HPに掲載します。



# RSLーその後の学び

立教サービラーニング（RSL）センターは、本学のボランティアセンターと協力・連携することで、RSL科目を履修した後の学生の学びや活動を支援しています。今回は実際にRSL科目を履修した後、自分達が関わったフィールドで継続的な活動を展開した学生のコメントをご紹介します。  
立教大学だからできる学びをぜひ、皆さんも体感してみてください！

## 実際に自らが行動することの大切さ

1年生の秋に実践系科目の一つである「RSL-ローカル（南魚沼）」を履修し、現地活動を通して、「豊かさとは何か」、「持続可能な社会にするにはどうすべきか」等を学び考える機会を得ました。その後、現地でお世話になった方々に恩返しを

したいと思い、有志メンバーと話し合って「立教×栃窪プロジェクト」を企画しました。本プロジェクトでは、お世話になった地域のPRを目的とした大学のホームカミングデーでのお米販売と、立教生に南魚沼の豊かな自然と暮らしを体感してもらうことを目的とした現地体験プログラムといった、二つの活動に取り組みしました。

本プロジェクトを通し、実際に自らが行動することの大切さを知ることができました。そして、行動することで新たに学ぶことや見えてくるものがあることも感じる事ができました。立教大学のRSLは、参加者のその後の生活や活動に大きな影響や刺激を与えてくれる科目であると思います！

2016年度「RSL-ローカル（南魚沼）」履修  
法学部政治学科4年次  
和田 拓磨さん

本学ホームカミングデー（2017年度）での「立教×栃窪プロジェクト」お米販売の様子（中央の男性が和田さん）



## その奥にある思いや葛藤と向き合いたい

私は、大学生になってボランティアサークルに所属し、高齢者の方やしょうがい者の方に向けた活動に参加していましたが、もっといろいろな現場に参加したいという気持ちがあり、貧困家庭の子ども達に学習支援をするこの授業を履修しました。

活動中、「一緒に楽しい時間を過ごせば良い」と考えていましたが、活動前のミーティングで学習支援に通う子ども達の家庭の事情を知り、「周りからはわからない何か」を抱えている子どもが多いことを知りました。

私自身、ただ勉強を教えてくれる大学生の一人ではなく、いつも話を聞いてくれる〇〇さんのような、相手にとって意味のある存在になりたいと思います。今もボランティアの活動を継続しています。

今は将来子ども関係の心理職のお仕事をしたいと考えており、これからいろいろなことにチャレンジしながら、学びを深めていきたいと思っています。

2017年度「RSL-コミュニティ（埼玉）」履修  
現代心理学部心理学科3年次  
稲場 日菜子さん



学習支援活動前のミーティング  
（2018年度）の様子  
（中央の女性が稲場さん）

# RSL科目の履修についてよくある質問

**Q1.** RSLセンター科目の履修は、「導入期」・「形成期」・「完成期」の順番で履修しないとダメですか？

**A.** 各学修期はあくまでも目安です。講義系・実践系科目を問わず、どの科目も履修したい時期（学年）に履修して頂いて問題ありません。

**Q2.** RSL科目の履修について注意することはありますか？

**A.** RSL科目は履修のための事前説明会を実施しています。特に、実践系科目の履修を希望する学生は出席してください。また、これらの科目は、「事前学習→現地活動（フィールドワーク）→事後学習」すべての出席が必須となります。詳細については「シラバス」や「履修要項」をご確認して頂くか、説明会にお越しください。

**Q3.** 実践系科目はどのように履修登録すればよいですか？

**A.** RSL科目は全学共通科目ですので、すべて抽選登録科目（Web）です。特に「RSL-コミュニティ（埼玉）」を除く実践系の科目は、時間割表ではなく、「集中・その他・オンデマンド」の「追加」をクリックし、画面の指示に従って履修登録をしてください。

※その他、ご質問・ご不明な点等がありましたら、RSLセンターにご連絡ください。

## RSLセンター運営協議会委員・事務スタッフ一覧

|       |                    |        |                     |
|-------|--------------------|--------|---------------------|
| 原田 晃樹 | センター長 コミュニティ福祉学部教授 | 藤井 満里子 | RSLセンター助教           |
| 逸見 敏郎 | 副センター長 文学部教授       | 福原 充   | RSLセンター教育研究コーディネーター |
| 前田 一男 | 運営協議会委員 文学部教授      | 佐藤 一宏  | 社会連携教育課課長           |
| 箕浦 真生 | 運営協議会委員 理学部教授      | 松村 郷士  | 社会連携教育課             |
| 舩谷 鋭  | 運営協議会委員 観光学部教授     |        |                     |

「R」(立教)を乗せたSL(steam locomotive)で  
未知の世界を旅しよう！

レールの先は  
アナタシダイ

